

葛飾区SDGs宣言書

宣言日

2026年

2月

2日

事業者等としての2030年の(又は中長期的な)あるべき姿

現場改善ラボ(GENBALAB)は、給食・福祉・多国籍スタッフが働く現場において、安全で衛生的、かつ働きやすい職場環境を広げることが目標としています。2030年に向けて、食中毒や事故を防ぐ衛生管理の普及、新人や外国人スタッフも理解できる教育体制の構築及び人手不足の中でも無理なく続けられる現場改善を実現し、働く人の健康と安心、組織の安定運営に貢献していきます。

事業者等としてののねらい、特徴的な活動

これまで、給食・福祉現場を中心に、衛生管理、事故防止、SS、スタッフ教育に関する現場改善支援を行ってきました。特に、新人教育や外国人スタッフ向けに、やさしい言葉による説明や動画やマニュアルを活用した教育を取り入れ、理解不足によるミスや事故の防止に取り組んでいます。今後は、デジタル教材や動画マニュアルの充実、多言語対応の教育コンテンツ提供を進め、より多くの現場で持続可能な改善が行えるよう支援していきます。

目指すSDGsのゴール(複数選択可)

目標に関連する取組内容等

ゴール	これまでの取組内容	2026年12月31日までの取組目標
3	給食・福祉現場における衛生管理・安全管理の実務経験をもとに、食中毒防止、異物混入防止、事故防止に関する教育マニュアルを作成し、新人や未経験者にも分かりやすい形で現場教育を実施してきた。	教育マニュアルおよび動画教材を活用し、より多くの現場で安全・衛生水準の向上と事故予防に貢献する。
4	新人・外国人スタッフ向けに、専門用語を避けた分かりやすい教育教材(文章・動画)を作成し、現場教育の質の向上に取り組んできた。	多様な人材が理解しやすい教育コンテンツの拡充を行い、教育機会の格差解消に貢献する。
8	人手不足現場において、教育の属人化を防ぐマニュアル整備により、新人の定着率向上と職場の安定化を支援してきた。	現場改善支援と教育体制整備を通じて、働きやすく持続可能な職場づくりを支援する。
10	国籍・年齢・経験に関係なく理解できる教育資料を作成し、外国人スタッフを含む多様な人材が安心して働ける環境づくりに取り組んできた。	やさしい日本語や視覚的教材を活用し、多様な人材が活躍できる職場づくりを支援する。
11	給食・福祉現場など地域に不可欠なサービス現場において、人手不足や教育不足による業務停滞・事故を防ぐため、現場改善・教育支援を行い、安定した運営を支えてきた。	地域の生活を支える現場が継続的に機能するよう、教育・マニュアル整備を通じて、持続可能な職場環境づくりに貢献する。
12	業務マニュアルの整備により、作業ミス・食材ロス・再作業の削減に取り組んできた。	無駄やロスの少ない現場運営を支援し、持続可能な業務体制の構築に貢献する。

1	事業者等の名称	現場改善ラボ(GENBALAB)	
		本社が届け出る場合は、事業所(支店・営業所等)の数	1
2	業種	11. 教育・学習支援業	
3	従業員(構成員)数	1	
4	代表者 職・氏名	職名	代表
		氏名	楊 秀珍
5	所在地	〒	124-0021
		東京都葛飾区細田1-3-8	
6	ホームページURL	http://www.kyushoku-kaizen.com	